

平成28年度一般会計補正予算(第11号)承認

地方譲与税、地方交付税（特別交付税）の国庫金、地方消費税交付金等の各種交付金や市債の額が確定したことによる補正予算となっています。



平成28年度一般会計補正予算(第11号)を審査

株式等譲渡所得割交付金

Q 大きく減額されているが、景気に左右されたということなのか。
A 株の売買が景気もあつて控えられたと想定される。

行政財産目的外使用料

Q 増額補正だが、どのような目的外使用での入金か。
A 農業振興センターの建物貸付使用料のうちの電気代である。

施設等整備基金

Q 補正で8億円積み上げているが目的は。
A 将来の施設整備に備えるのが目的であり、財政調整基金の取り崩しが発生しないレベルで積み立てを行う形で施設整備基金に計上した。

財政調整基金を減らして施設整備基金に積んだかのように見えるが。

A 予算上の調整という形の計上だ。

生活管理指導員派遣事業

Q 生活管理指導員派遣事業は当初予算全額が減額されているが。
A 相談はあつたが、介護認定によつて、事業の該当者がなかった。

健康づくり地域ネットワーク推進事業費補助金

Q 150万円の当初予算で、100万円が減額になっている。事業の啓発は。
A 今回は少なく、4団体だった。2次募集もかけたが応募がなかった。さらに啓発していく。

未登記公共用地分筆測量委託

Q 当初60万円の予算で、9月議会で220万円増額補正し、今回の補正で188万円余り減額している。事業の説明を。
A 赤線道が市道に被さつて拡張されたりした場合、分筆登記をして公衆用道路に変えて名義変更している。当初、1件10万円です、6件計画していたが、民地のため、年度繰り越しになったり中止になったりしたため、このような形になっている。

予防接種、検診委託料

Q 予防接種が1千万円の減額補正、検診委託料も減額されているが、見込みより少なかったのか。

ヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンは初回の開始月齢により接種回数異なるため、接種件数の試算が難しい。試算より接種者が少なかったことによる減額だ。

検診委託料は、医療機関による個別検診、子宮頸がんや乳がん検診を導入し、若い世代を見込んで予算計上したが、受診率は伸びなかった。受診勧奨は実施している。



平成29年度一般会計補正予算(第1号)へ「修正動議」提出

【修正案】

議案第39号 平成29年度香美市一般会計補正予算(第1号)のうち、鏡野中学校武道館及びプール施設等新築工事にかかる費用「232,859千円」全額を削除し、地方債補正を改め、一般会計総額を「18,281,141千円」とする。

※修正案は市民クラブの山崎真幹議員ほか5名より提出されました。



修正案は質疑、討論の結果、賛成少数で否決、執行部提案の原案が可決されました。

※各議員の賛否は6頁に掲載

賛成、反対それぞれの討論がありましたので紹介します。

【賛成討論】

市民クラブ 甲藤 邦廣

執行部原案は、過去に開催された施設整備検討委員会での結論を無視し、執行部独断で温水プールでの整備を計画・執行した。結果、入札不調となり、ランニングコストが将来的に大きな財政負担となることから、温水プール建設を断念して国庫補助金を削除し、再度入札を実施するための予算となっている。

ドーム型の大型屋根構造は温水プール建設が前提であり、変更すべきである。

建設費は全て税金で賄われるものであり、公金意識、コスト意識が極めて低いと言わざるを得ない。市民の皆さんに対して、説明責任を果たすためにも、本予算を取り下げ、時間をかけて再検討すべきだ。

市民クラブ 利根 健二

議員協議会の説明では、課長と教育長の利用構想到に食い違いが感じ取られた。

10億円を軽く超えるこの事業には、まだまだ多くの検討課題がある。

現段階では、数千万・数億円単位で予算が度々、増額変更になっていることを、私たちは市民に対して十分な説明責任を果たすことはできない。

多くの血税が投入されるこの建設計画は、いったん立ち止まり、腰を据えた検討、そして、市民の同意が必要である。

合併特例債等期限のある市債を利用する計画では無いので、立ち止まることの影響は余り多くない。

【反対討論】

日本共産党 山崎龍太郎

当該施設は早期に必要な教育施設である。プールの屋根は学校サイドからの要望であり、検討委員会にも示され、議会も今日までの予算に賛成してきた。ただし、当初の設計坪単価の設定ミスによる工事金額の大幅増など、積算の甘さと設計の不十分さを厳しく指摘する。

修正案だと、実施設計からやり直しとなり、平成30年以降の事業になる。これまで充当した過疎債に加算金も付け繰り上げ償還しなければならぬ。平成29年度に繰り越した過疎債も全額不用額となり、今後の建設事業にも影響する。安易に予算を膨張させず、事務を遂行するよう求める。